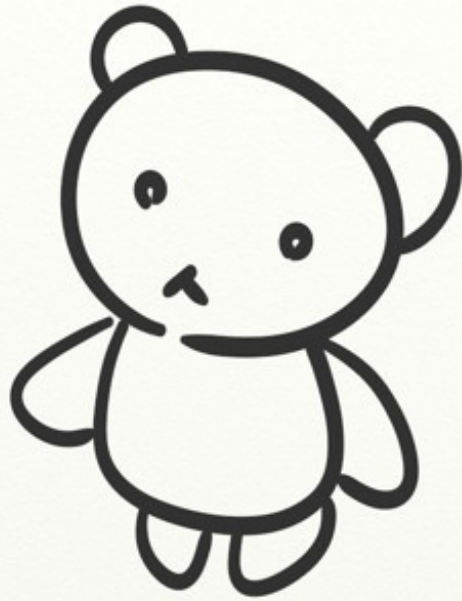


色をなくしたパンダ

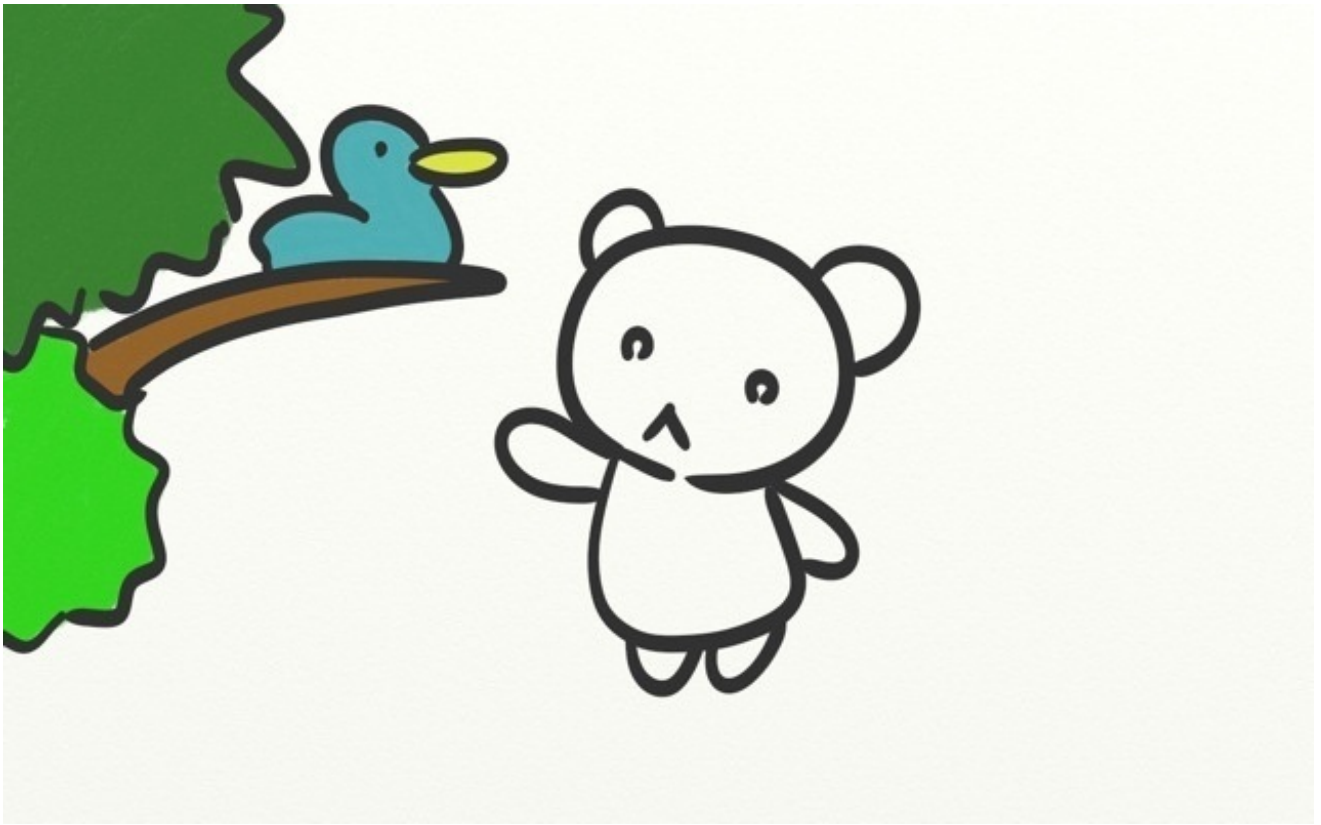




あるひ、パンダくんが起きると、体が真っ白になっていました。

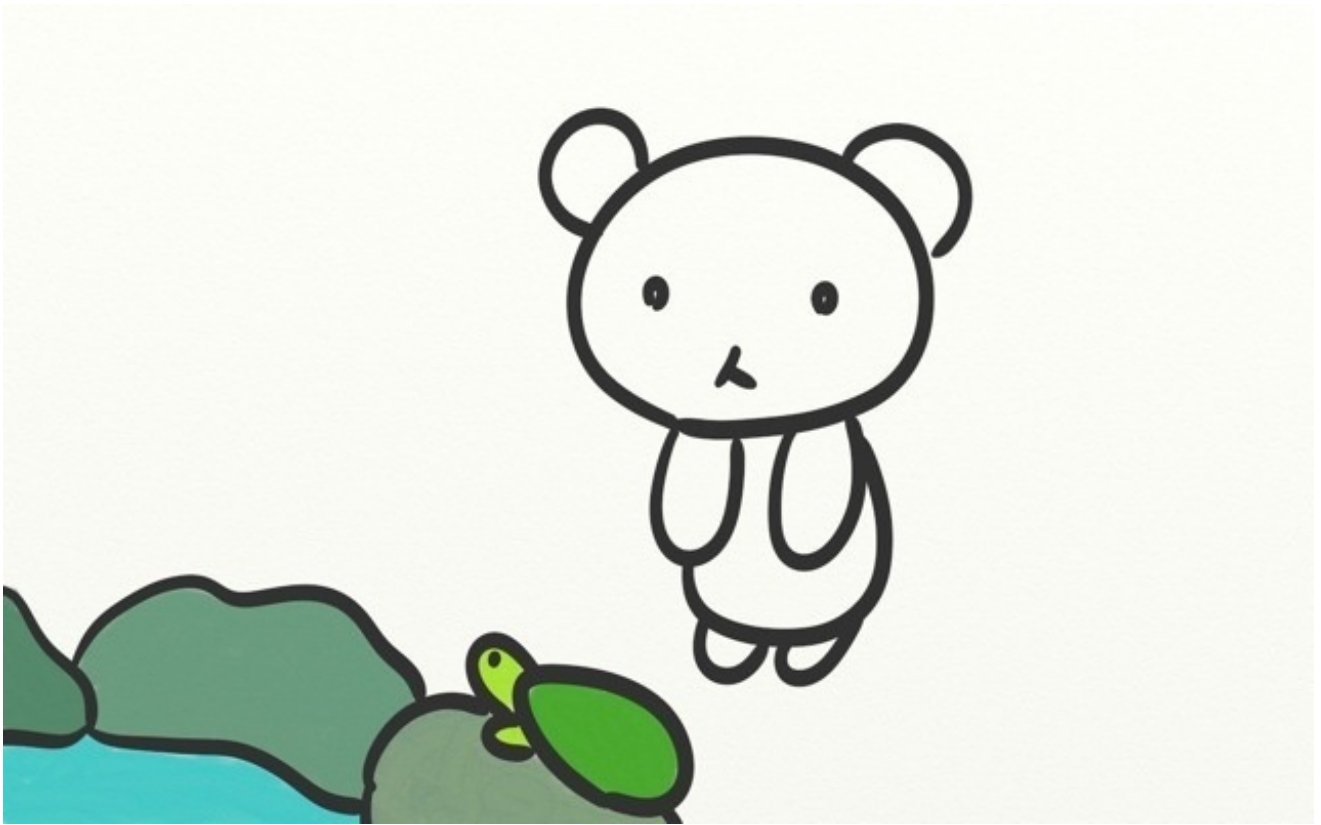
「あれえ？」

「これじゃあパンダじゃなくてシロクマだよ。」



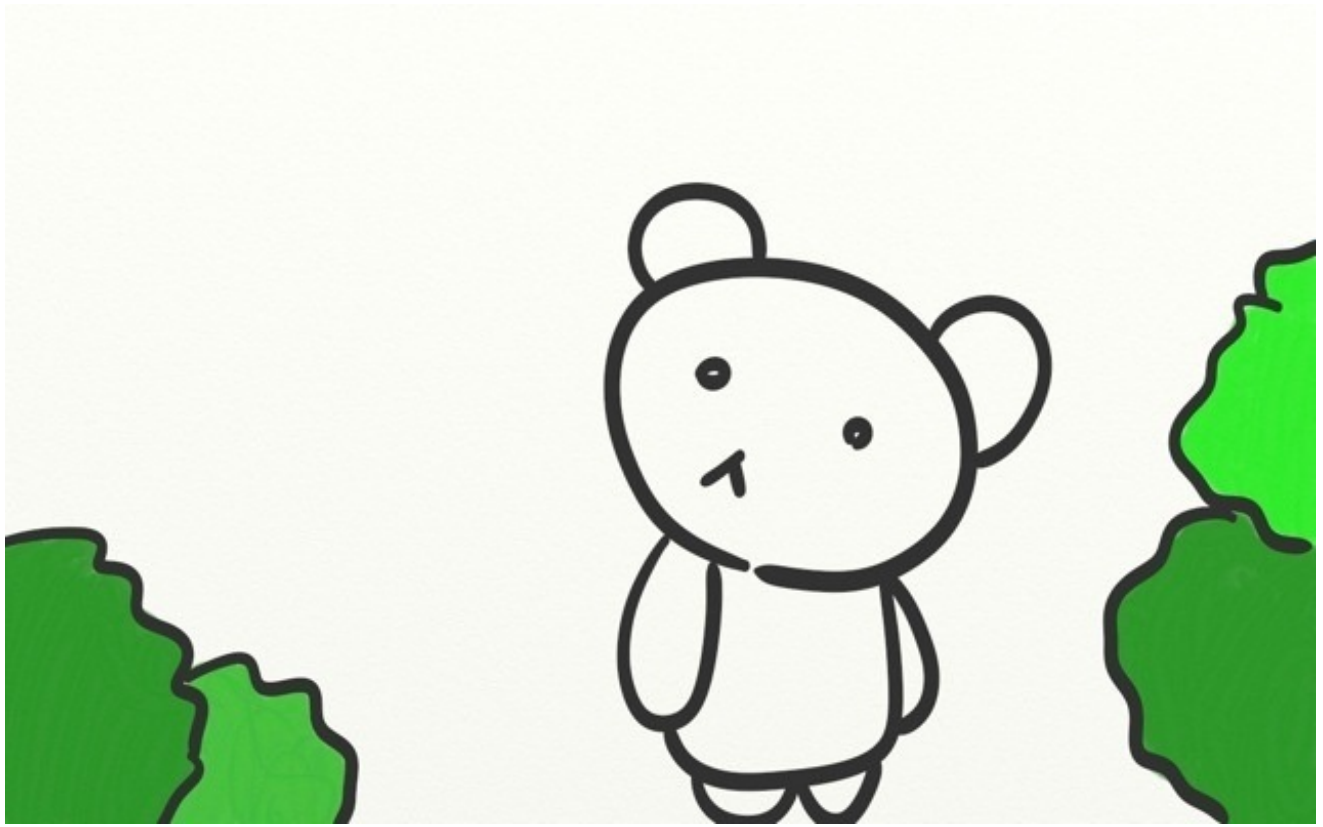
「鳥さん、鳥さん。ぼくの黒い部分、知らない？」

「知らないなあ」



「カメさん、カメさん。ぼくの黒い部分、知らない？」

「知らないなあ。」



「どこにもないなあ。

きょうはもうおうちへ帰ろう」



「あれ？

やけに静かだぞ？

みんなはいないのかなあ？」

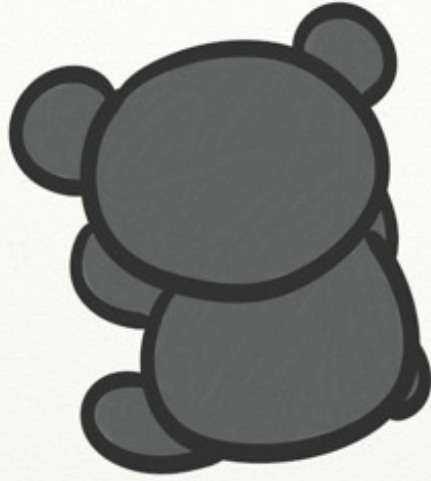


おうちにかえったパンダくんは思い出しました。

「そうだ。

仲間がみんな捕まっちゃって、ぼくは悲しくて泣いていたんだ。

だから真っ白になっちゃったんだ。」



パンダくんはみんなのことを忘れていた自分のことも悲しくて、1日じゅう泣き続けました。

次の日、パンダくんは悲しい気持ちでいっぱい、真っ黒の体になっていました。

色をなくしたパンダ

<http://p.booklog.jp/book/50987>

著者：み〜こ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/miko2/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50987>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50987>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.